

誠之の教育

3月号（第637号）
令和6年2月29日発行
文京区立誠之小学校

校歌をいつまでも大切に

校長 宍戸 敏和

明治32（1889）年1月、中村秋香氏作詞、小出雷吉氏作曲による校歌ができました。この校歌には、「人は誠の心をもって、個性ある生き方をしてほしい。」という願いが込められています。

さて、皆さんは、御自身の小学校の校歌は、歌えますか。在学中はもとより、卒業してもかけがえのないものとして、深く心に刻まれているのではないのでしょうか。口ずさめば、その当時の思い出が一気によみがえってくる、そんな懐かしさを感じられる大切なものではありませんか。

令和5年9月23日発行の日本教育新聞にミュージシャンの財津和夫さんによる「校歌は体の一部、大切にしたい」というコラムが掲載されていました。少し長い文ですが、一部を御紹介したいと思います。

他の歌とは違い、校歌にはとても珍しい特徴があります。それは個人の好みや流行にかかわらず、「その学校に通っている」という理由で歌うことになるということです。校歌というのは、同じ時間や空間を共有した証しになります。子どもの頃は、歌詞の意味もよく理解できずに、大人に言われるがまま歌っていた人もいるかもしれません。しかし、何度も歌ううちに、歌詞とメロディーが一体となって体の中に入り込んでいきます。そういった意味で、校歌は体の一部になっていると思っています。歌は思い出と結びつく力を持っています。友達や勉強、中には叱られたことなども、学校生活の記憶として強くつながります。そして、卒業式で歌う時には、「友達と別れるのだな」とか「この学校には、もう来ないのだな」とか、感慨深く、しみじみとしたものになり、校歌はその人にとって格別に大切な歌になるのです。

誠之小学校の校歌は、この学校に関わる全ての方の大切な体の一部になるのでしょう。いつまでも、この学校を愛する気持ちをもって、校歌を大切にしていきたいですね。

実をこそ結べ	花咲きにおい	おのがさまさま	生いたつ庭の	道のまにまに	天と人との	おしえの庭の	之を誠に
歳のはに	誠ある	かぐわしき	若草は	茂るなり	うるわしき	若草は	おおしたつ

小学校6年間を振り返って

あと少して卒業を迎える6年生。小学校生活の思い出を振り返りました。

6年1組

私は、誠之小学校で過ごした6年間で、たくさんのことを学びましたが、特に「集団生活の大切さ」を学びました。集団生活を知らなかった1年生の時に、中休みに集中して遊んでしまい、授業の始まりに間に合わず、授業を遅らせてしまったことがありました。この失敗から、集団生活の大切さを学びました。中学校でも、集団生活を大切にしたい、毎日過ごしていきたいです。

6年1組

私は、この6年間で様々なことを学んだが、魚沼移動教室で、行動する際に大切なことを学んだ。友が、自分勝手と思われる行動の1つをやってよいか、班長である私に聞いてきた。私は、それを許可してしまったのだ。ふり返るとやってはいけないことだと分かった。この出来事から、私はその都度、よく考えて行動することが大切だということ学んだ。中学校でも生かして行きたい。

6年2組

小学校生活では、いろいろな学びがありました。それらの学びは、私の周りにはいるたくさんの人に支えられていることが分かるようになりました。また、それぞれの人が一生懸命生きていることも感じられるようになってきました。小学校生活では、ただ周りに甘えている自分でしたが、中学校ではそういった甘えではなく、周りの人や友達への感謝と自立する気持ちをもちながら、過ごしていけるようにしたいと思っています。

6年2組

私が6年間の小学校生活の中で一番楽しかった思い出は、5年生の時の鎌倉社会科見学です。その中でも特に印象に残っていることは、自由行動で500円を使っているいろいろ買ったことです。私の班では、事前に行きたいところや食べたいものを調べ、まずそのお店を目指すようにしながら自由行動をしました。その時に食べた大仏まんじゅうがおいしくて、印象に残っています。これから中学生になっても楽しい思い出をたくさん作りたいたいです。

6年3組

僕は、6年生で転入してきた。心配ばかりだったが、すぐに話し掛けてくれた友達がいた。人前で話すことが苦手だった僕が、友達の励ましで学芸会の舞台上で堂々と話すこともできた。授業では、友達の考え方と自分の考えを比べて考えを深め、学ぶことが楽しいと思えるようになった。短いけれど、友達との思い出がぎゅっと詰まっている。

6年3組

私が誠之小学校の6年間で学んだことは、小さなことでも思いやりをもつということだ。以前私がタブレットの操作が分からないとき、友達が当たり前のようにやり方を教えてくれた。このとき、気配りの大切さを学んだ。今後は、提出したノートが配られていなかったら、みんなに配るなど、小さな思いやりと心掛を大切にしていきたい。

6年4組

僕が誠之小学校で意識してきたことは、友達関係です。僕は3年生の時に誠之小に転校してきたので、友達関係が不安でした。でも、友達が優しく接してくれたので不安が消えました。この時、僕も友達に優しく接していこうと強く思いました。これからの中学校生活も、今まで続けてきた友達に優しく接することを大切にしたいです。

6年4組

僕は誠之小学校の6年間で協力することのすごさを知りました。きっかけは色々ありますが、その中でも4年生の音楽会が大きいです。僕は希望していた楽器のオーディションに落ちてしまったけど、他の楽器でも頑張って練習しました。そして本番、みんなで息を合わせて曲を作り上げ、うまく演奏でき、ここで協力のすごさを知りました。これからも周り協力して生活していきたいです。



最高学年に向かって



今年度もあとわずかとなり、5年生の子供たちも自分の成長を振り返る時期となりました。1学期には、初めて委員会活動に参加し、学校のためにいろいろな場面で5・6年生が働いていることを知りました。自分たちも、責任感をもって仕事ができるようになりました。2学期には、誠之小学校の伝統の「南中ソーラン」も踊りました。また、学芸会の会場の片付けをし、大道具や観客席の片付けをすることで学校の行事に関わることができました。これまで知らなかったけれど、学校行事の度に6年生がこうやって準備や片付けをしてくれていたのだと初めて気付きました。

そして、3学期。5年生にとっての3学期は、「6年生のゼロ学期」です。4月に「最高学年」としてスタートが切れるように、今まさに準備の真っただ中です。

わくわく班 新リーダー



一番の大仕事は、縦割り班活動「わくわく班」のリーダーを6年生から引き継いだことです。下級生たちが見つめる中、前に立って指示を出したり説明したりする緊張感や、計画通りに進まないときの不安や焦りも、初めて味わうものでした。「6年生が、休み時間も使って準備してくれていたなんて知らなかった。」「低学年の子が分かるように説明するのが難しかった。」と、リーダーを務めることの大変さや、6年生への感謝と尊敬の念を感じた5年生も多かったです。その中でも、「みんなが真剣に話を聞いてくれてうれしかった。」「1年生が喜んでくれてかわいかった。」と、やりがいと楽しさも感じることができました。

「6年生を送る会」の動画撮影



「6年生を送る会」のために、6年生が経験してきた学校行事に関するクイズを考えました。6年生だけでなく、全校児童が楽しめるように当時の動画や写真を交えて心のこもった動画を作ることができました。

卒業式の入場音楽



卒業式に5年生は参列できませんが、リコーダーで吹いた曲を録音して、卒業生が入場するときに流してもらうことになりました。会場にいるつもりで、背筋をぴんと伸ばして練習しています。

3月の行事予定

3月の生活目標 『一年間のまとめをしよう』

日	曜	行 事	こどもひろば
1	金	クラブ活動 クラブ見学(3年生)	
2	土	土曜授業公開	
3	日		
4	月	校外体育(5・1・4年生) 安全指導日	
5	火	避難訓練	
6	水	6年生を送る会 わくわく班活動	
7	木	校外体育(3・6・2年生) 卒業遠足(6年生)	
8	金	委員会活動	
9	土		
10	日		
11	月	校外体育(5・1・4年生) 保護者会(1・2・3年生) おはなしの森(3年生)	
12	火	全校朝会(放送) 保護者会(4・5・6年生) おはなしの森(2年生)	
13	水		
14	木	校外体育(3・6・2年生) PTA 総会	
15	金	おはなしの森(4年生)	
16	土		
17	日		
18	月	カルビー出張授業(3年生)	
19	火	全校朝会(放送) おはなしの森(1年生)	
20	水	春分の日	
21	木	大掃除 給食終	
22	金	修了式 卒業式予行練習(6年生)	
23	土		
24	日		
25	月	卒業式	
26	火	春季休業日始	
3	3	3	
4/5	金	春季休業日終 前日準備(新6年生)	
8	月	始業式 入学式	
9	火	給食始	

※3月のこどもひろばの使用は、ありません。